



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月6日

上場会社名 アピックヤマダ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6300 URL <http://www.apicyamada.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野中 正樹
 問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 柳澤 一明 (TEL) 026 (275) 2111
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	3,153	109.2	133	—	141	—	115	—
22年3月期第1四半期	1,507	△63.1	△562	—	△530	—	△536	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	9	25	—	—
22年3月期第1四半期	△43	16	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	13,876	5,745	5,745	41.4	462	21		
22年3月期	13,040	5,587	5,587	42.8	449	53		

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 5,745百万円 22年3月期 5,587百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	0	00	—	0	00
23年3月期	—					
23年3月期(予想)		0	00	—	0	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	7,100	81.1	300	—	360	—	320	—	25	74
通期	13,500	40.6	40	—	185	—	130	—	10	46

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有

4. その他（詳細は、〔添付資料〕P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 ー社（社名 ）、除外 ー社（社名 ）、

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	12,969,000株	22年3月期	12,969,000株
23年3月期1Q	539,344株	22年3月期	538,412株
23年3月期1Q	12,429,948株	22年3月期1Q	12,431,428株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、一部で景気回復の兆しが見られるものの、雇用情勢については改善まで至っておらず、個人消費は依然として厳しい状況で推移いたしました。

こうした環境の中、当社グループは、業績を早急に回復させるため、基幹事業である半導体関連を中心に収益向上を図るとともに、電子通信部品、LED製品及び車載関連製品などの新規事業の拡充にも積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は3,153百万円（前年同四半期比109.2%増）、営業利益は133百万円（前年同四半期は営業損失562百万円）、経常利益は141百万円（前年同四半期は経常損失530百万円）、四半期純利益は115百万円（前年同四半期は四半期純損失536百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 電子部品組立装置

電子部品組立装置については、半導体市場が前連結会計年度後半より引き続いて堅調であり、またLED市場においても需要が増加傾向で推移いたしました。この結果、売上高は1,643百万円となりました。

② 電子部品

電子部品については、LED向けの安定した需要に加え、パソコン、携帯電話及びデジタル家電向けも好調を維持したことから、受注高及び売上高は堅調に推移いたしました。この結果、売上高は1,229百万円となりました。

③ その他

その他については、主に電子部品組立装置用金型を中心に好調を維持いたしました。この結果、売上高は279百万円となりました。

(注) 当第1四半期連結会計期間から、セグメント区分を変更したため、各セグメントの対前年同期との金額比較は記載しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、13,876百万円（前連結会計年度末は13,040百万円）となり、前連結会計年度末と比較して836百万円増加いたしました。これは主にたな卸資産の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、8,131百万円（前連結会計年度末は7,453百万円）となり、前連結会計年度末と比較して678百万円増加いたしました。これは主に支払手形の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、5,745百万円（前連結会計年度末は5,587百万円）となり、前連結会計年度末と比較して157百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

なお、これらの要因により、自己資本比率は41.4%（前連結会計年度末は42.8%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して62百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末には3,016百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は49百万円の増加（前年同四半期は297百万円の減少）となりました。これは主に仕入債務の増加、減価償却費及び税金等調整前四半期純利益の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は100百万円の減少（前年同四半期は19百万円の減少）となりました。これは主に金型用の加工設備を中心とした有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、資金は15百万円の減少（前年同四半期は20百万円の減少）となりました。これは主に長期借入の返済による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月13日の決算発表時に公表いたしました平成23年3月期第2四半期累計期間業績予想を修正いたしました。なお、通期業績予想につきましては、修正しておりません。

詳細につきましては、本日（平成22年8月6日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないとみとめられるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は、それぞれ64千円減少しており、税金等調整前四半期純利益は、21,332千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は23,446千円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,016,208	3,078,893
受取手形及び売掛金	2,658,034	2,643,813
商品及び製品	1,121,846	712,384
仕掛品	1,598,082	1,168,509
原材料及び貯蔵品	473,972	362,149
その他	230,152	295,273
貸倒引当金	△1,309	△1,200
流動資産合計	9,096,987	8,259,823
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,643,845	1,656,083
機械装置及び運搬具(純額)	802,623	792,724
土地	860,001	856,244
その他(純額)	224,146	225,486
有形固定資産合計	3,530,616	3,530,539
無形固定資産	220,600	225,555
投資その他の資産		
関係会社出資金	515,936	505,508
その他	523,523	530,614
貸倒引当金	△10,700	△11,137
投資その他の資産合計	1,028,759	1,024,986
固定資産合計	4,779,976	4,781,081
資産合計	13,876,963	13,040,904
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,036,782	2,457,065
短期借入金	2,680,000	2,640,000
1年内返済予定の長期借入金	168,000	168,000
未払法人税等	16,414	12,246
賞与引当金	49,125	89,861
製品保証引当金	31,572	32,154
その他	840,143	709,006
流動負債合計	6,822,038	6,108,332
固定負債		
長期借入金	368,000	410,000
退職給付引当金	834,159	843,820
その他	107,594	90,848
固定負債合計	1,309,754	1,344,668
負債合計	8,131,793	7,453,001

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,837,500	5,837,500
利益剰余金	597,426	482,407
自己株式	△99,292	△99,062
株主資本合計	6,335,633	6,220,845
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,090	728
為替換算調整勘定	△585,371	△633,671
評価・換算差額等合計	△590,462	△632,942
純資産合計	5,745,170	5,587,902
負債純資産合計	13,876,963	13,040,904

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,507,356	3,153,677
売上原価	1,526,688	2,425,328
売上総利益又は売上総損失(△)	△19,332	728,348
販売費及び一般管理費	543,130	595,167
営業利益又は営業損失(△)	△562,463	133,181
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,469	830
持分法による投資利益	—	6,396
為替差益	3,157	—
受取技術料	7,139	7,648
助成金収入	41,717	—
その他	18,421	15,804
営業外収益合計	71,906	30,680
営業外費用		
支払利息	16,901	16,591
持分法による投資損失	19,121	—
為替差損	—	1,640
売上債権売却損	1,143	2,530
その他	2,774	1,633
営業外費用合計	39,940	22,396
経常利益又は経常損失(△)	△530,497	141,465
特別利益		
固定資産売却益	3,310	2,355
貸倒引当金戻入額	1,479	49
特別利益合計	4,790	2,404
特別損失		
固定資産除却損	16	329
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	21,268
投資有価証券評価損	27,300	—
特別損失合計	27,316	21,597
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△553,023	122,272
法人税、住民税及び事業税	2,078	7,727
法人税等調整額	△18,617	△473
法人税等合計	△16,538	7,254
少数株主損益調整前四半期純利益	—	115,018
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△536,484	115,018

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△553,023	122,272
減価償却費	123,665	136,164
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,479	△328
賞与引当金の増減額(△は減少)	△74,181	△40,785
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△7,301	△582
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6,715	△9,660
受取利息及び受取配当金	△1,469	△830
支払利息	16,901	16,591
為替差損益(△は益)	5,758	719
持分法による投資損益(△は益)	19,121	△6,396
固定資産売却損益(△は益)	△3,310	△2,355
固定資産除却損	16	329
投資有価証券評価損益(△は益)	27,300	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	21,268
売上債権の増減額(△は増加)	501,944	△1,812
たな卸資産の増減額(△は増加)	126,605	△939,204
未消費税等の増減額(△は増加)	64,255	11,681
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△66,142	62,313
仕入債務の増減額(△は減少)	△503,274	568,384
その他の負債の増減額(△は減少)	61,311	137,418
その他	881	462
小計	△269,136	75,651
利息及び配当金の受取額	1,905	850
利息の支払額	△17,003	△16,539
法人税等の支払額	△13,365	△10,920
営業活動によるキャッシュ・フロー	△297,600	49,041
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△155,039	△107,902
有形固定資産の売却による収入	42,597	15,626
無形固定資産の取得による支出	△3,965	△10,114
投資有価証券の取得による支出	△149	△150
定期預金の払戻による収入	100,000	—
その他の支出	△2,783	△245
その他の収入	295	2,479
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,046	△100,307
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20,000	40,000
長期借入金の返済による支出	△30,000	△42,000
自己株式の取得による支出	△29	△229
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△9,958	△12,973
配当金の支払額	△412	△112
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,399	△15,316
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,416	3,896
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△323,630	△62,684
現金及び現金同等物の期首残高	3,903,146	3,078,893
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,579,515	3,016,208

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	半導体製造 装置 (千円)	金型 (千円)	リードフ レーム等 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売 上高	440,661	592,292	474,402	1,507,356	—	1,507,356
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	722	1,400	—	2,123	(2,123)	—
計	441,383	593,693	474,402	1,509,479	(2,123)	1,507,356
営業損失	198,631	117,778	97,280	413,690	(148,772)	562,463

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売 上高	1,125,232	382,123	1,507,356	—	1,507,356
(2) セグメント間の内部 売上高	59,200	17,750	76,950	(76,950)	—
計	1,184,432	399,874	1,584,306	(76,950)	1,507,356
営業損失	326,385	87,304	413,690	148,772	562,463

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（千円）	778,341	207,108	985,450
II 連結売上高（千円）	—	—	1,507,356
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	51.7	13.7	65.4

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、半導体製造装置、金型、リードフレーム及び各種電子部品等の製造販売を主要な事業としております。従って、当社は、これらを基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「電子部品組立装置事業」及び「電子部品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「電子部品組立装置事業」は、モールドイング装置、リード加工機及びモールド金型等を製造・販売しております。「電子部品事業」は、リードフレーム及び電子通信部品等を製造・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子部品 組立装置	電子部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,643,999	1,229,963	2,873,962	279,714	3,153,677	—	3,153,677
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	25,684	25,684	△25,684	—
計	1,643,999	1,229,963	2,873,962	305,398	3,179,361	△25,684	3,153,677
セグメント利益	180,491	76,170	256,662	13,040	269,702	△136,521	133,181

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リード加工金型及びリードフレーム生産用金型の調達・販売等を行っております。

2. セグメント利益の調整額△136,521千円には、セグメント間取引消去117千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△136,639千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結会計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	前年同四半期比 (%)
電子部品組立装置 (千円)	2,017,713	—
電子部品 (千円)	1,200,547	—
報告セグメント計 (千円)	3,218,260	—
その他 (千円)	400,559	—
合計 (千円)	3,618,819	—

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。

2. 金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第1四半期連結会計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
電子部品組立装置	2,180,045	—	4,464,338	—
電子部品	1,437,301	—	544,109	—
報告セグメント計	3,617,346	—	5,008,447	—
その他	444,618	—	584,718	—
合計	4,061,965	—	5,593,165	—

(注) 金額は販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	前年同四半期比 (%)
電子部品組立装置 (千円)	1,643,999	—
電子部品 (千円)	1,229,963	—
報告セグメント計 (千円)	2,873,962	—
その他 (千円)	279,714	—
合計 (千円)	3,153,677	—

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 前第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)		当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
ASE Electronics (M) Sdn. Bhd.	332,050	22.0	—	—
IBM Corporation	185,567	12.3	—	—
Sumiko Leadframe (Thailand) Co., Ltd.	184,803	12.3	387,526	12.3
日亜化学工業株式会社	—	—	364,660	11.6
CHANG WAH ELECTROMATERIALS INCORPORATION	—	—	329,214	10.4

3. 金額には消費税等は含まれておりません。